

年間指導計画表

滋慶学園高等学校

科目	現代の国語	単位数	2	年次	1	担当者	上原 一真
教科書等	新編 現代の国語 (東京書籍)	面接指導時数	2	レポート提出回数	6	試験回数	2
学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
レポート内容	単 元	学 習 内 容			メディア利用学習	学習内容	
第1回 レポート	①	1 自己を見つめる	こそそめスープ ルリボシカミキリの青			第1回 NHK Eテレ 現代の国語	1学期 1回 自分を伝え、相手を知ろう
第2回 レポート	②	2 他者に出会う	未来をつくる想像力				
第3回 レポート	③	2 他者に出会う	水の東西			第2回 東京書籍	鍋洗いの日々
第4回 レポート	④	5 社会と関わる	森で染める人 真夏のひしこ漁				
第5回 レポート	⑤	5 社会と関わる	鍋洗いの日々				
第6回 レポート	⑥	7 世界とつながる	りんごのほっぺ				
面接指導 〈スクーリング〉	教科書、直近のレポートを教材に納得のいく指導を心がけます。本文中やレポートで分からない語句や漢字があればそのままにせず調べるようにしましょう。親しみやすい文章ばかりですので積極的にスクーリングに参加するようにしてください。						
評価の観点 と方法	レポート提出時期や内容を考慮したレポート点と単位認定試験の得点、スクーリング時の取り組み状況などを総合的に加味し評価する。						

令和7年度

年間指導計画表

滋慶学園高等学校

科目	言語文化	単位数	2	年次	1	担当者	上原 一真
教科書等	新編 言語文化 (東京書籍)	面接指導時数	2	レポート提出回数	6	試験回数	2
学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
レポート内容	単 元	学 習 内 容		メディア利用学習	学習内容		
第1回 レポート	①	現代文編 1 随筆 2 小説	さくらさくらさくら とんかつ	第1回 NHK Eテレ 言語文化	2回 [古文]古文入門 古文の世界へ 宇治拾遺物語 児のそら寝(1)		
第2回 レポート	②	現代文編 3 詩歌	柳あおめる【短歌】 雪の深さを【俳句】 冬が来た				
第3回 レポート	③	古文編 古文入門	古文に親しむ 児のそら寝	第2回 東京書籍	羅生門 (p72～p76)		
第4回 レポート	④	現代文編 4 小説2 5 小説3	羅生門 夢十夜				
第5回 レポート	⑤	古文編 4 物語 5 紀行	伊勢物語 奥の細道				
第6回 レポート	⑥	漢文編 1 漢文入門 2 漢詩	訓読の基本 故事成語 絶句と律詩				
面接指導 〈スクーリング〉	教科書、直近のレポートを教材に納得のいく指導を心がけます。本文中やレポートで分からない語句や漢字があればそのままにせず調べるようにしましょう。親しみやすい文章ばかりですので積極的にスクーリングに参加するようにしてください。						
評価の観点 と方法	レポート提出時期や内容を考慮したレポート点と単位認定試験の得点、スクーリング時の取り組み状況などを総合的に加味し評価する。						

令和7年度

年間指導計画表

滋慶学園高等学校

科目	文学国語	単位数	4	年次	2～3	担当者	上原 一真	
教科書等	新編文学国語〈東京書籍〉		必要出席 時数	4	レポート提 出回数	12	試験回数	2
学習目標	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
レポート内容	単 元		学 習 内 容			メディア 利用学習	学習内容	
第1回 レポート	Ⅰ部 随筆		光の窓 雨月物語			第1回 NHK エラジオ 文学国語	第13回 近代文学の成り立ち	
第2回 レポート	Ⅰ部 小説1		山月記 窓					
第3回 レポート	Ⅰ部 評論1		言葉を生きる 詩と感情生活					
第4回 レポート	Ⅰ部 小説2		山椒魚			第2回 NHK エラジオ 文学国語	第21回 古典を基にして 物語を作る	
第5回 レポート	Ⅰ部 詩歌		永訣の朝 硝子の駒					
第6回 レポート	Ⅰ部 小説3		こころ					
第7回 レポート	Ⅰ部 評論2		文学のふるさと あの朝			第3回 東京書籍	Ⅰ部 1 随筆 光の窓 小池昌代 (p8～14)	
第8回 レポート	Ⅱ部 詩歌		小諸なる古城のほとり 平気					
第9回 レポート	Ⅱ部 随筆2 戯曲		クレールという女 父と暮せば					
第10回 レポート	Ⅱ部 小説2		舞姫			第4回 東京書籍	Ⅰ部 5 詩歌 永訣の朝 宮澤賢治 (p98～103)	
第11回 レポート	Ⅱ部 評論		演技する「私」 映画の可能性のために					
第12回 レポート	Ⅱ部 小説3		葉桜と魔笛 蠅					
面接指導 〈スクーリ ング〉	教科書、直近のレポートを教材に納得のいく指導を心がけます。本文中やレポートで分からない語句や漢字があればそのままにせず調べるようにしましょう。親しみやすい文章ばかりですので積極的にスクーリングに参加するようにしてください。							
評価の観点と方法	レポート提出時期や内容を考慮したレポート点と単位認定試験の得点、スクーリング時の取り組み状況などを総合的に加味し評価する。							

令和7年度

年間指導計画表

滋慶学園高等学校

科目	論理国語	単位数	4	年次	2～3	担当者	上原 一真	
教科書等	新編論理国語〈東京書籍〉		必要出席時数	4	レポート提出回数	12	試験回数	2
学習目標	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
レポート内容	単 元		学 習 内 容			メディア 利用学習	学習内容	
第1回 レポート	I 部	1 広がる風景	対話とは何か 世界をつくり替えるために			第1回 NHK Eラジオ 論理国語	第1回 入門編(1) 文章を楽しむ	
第2回 レポート	I 部	2 考える手がかり	少女たちの「ひろしま」 「ふしぎ」ということ					
第3回 レポート	I 部	3 人間と知性	学ぶことと人間の知恵 ラップトップ抱えた「石器人」					
第4回 レポート	I 部	4 現実の中で	思考の肺活量 安心について			第2回 NHK Eラジオ 論理国語	第2回 入門編(2) 文章を読み解く	
第5回 レポート	I 部	5 ものの見方	弱肉強食は自然の摂理か 複数の「わたし」					
第6回 レポート	I 部	6 働くよろこび	はじめに「言葉」がある 楽に働くこと、楽しく働くこと					
第7回 レポート	II 部	1 時代をひらく	最初のペンギン 豊かさとは生物多様性			第3回 東京書籍	考える手がかり 書く資料を整理し、テーマを吟味しよう (p46～54)	
第8回 レポート	II 部	2 新しい視点から	物語の外から カフェの開店時間					
第9回 レポート	II 部	3 科学と人間	鏡としてのアンドロイド ロボットが隣人になるとき					
第10回 レポート	II 部	4 豊かな認識	言葉は「ものの名前」ではない 科学的「発見」とは			第4回 東京書籍	論理の力 1 つなげる力 (p148～153)	
第11回 レポート	II 部	5 知のうけ	知識における作者性と構造的性 もう一つの知性					
第12回 レポート	II 部	6 明日をみつめて	ホンモノのおカネの作り方 未来のありか					
面接指導 〈スクーリング〉	教科書、直近のレポートを教材に納得のいく指導を心がけます。本文中やレポートで分からない語句や漢字があればそのままにせず調べるようにしましょう。親しみやすい文章ばかりですので積極的にスクーリングに参加するようにしてください。							
評価の観点と方法	レポート提出時期や内容を考慮したレポート点と単位認定試験の得点、スクーリング時の取り組み状況などを総合的に加味し評価する。							

科目	世界史探究	単位数	3	年次	2	担当者	長野 康平	
教科書等	東京書籍 世界史探究 701		面接指導回数	3	レポート提出回数	9	試験回数	2
学習目標	社会的事象の歴史的見方・考え方を働かせ、課題を追求したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。							
レポート内容	単 元		学 習 内 容			メディア利用学習	学習内容	
第1回 レポート	序章 世界史へのまなざし 第1編 諸地域の歴史的特質 第1章 古代文明の出現		1 農業と気候 2 古代オリエントとエーゲ海地域 3 南アジアの古代文明 4 東アジアにめばえた文明			第3回 ギリシア・ローマ と地中海 (NHK高校講座) レポート第2回 の内容	①アテネ民主政治 ②ローマ帝国の繁栄 ③キリスト教の成立	
第2回 レポート	第2章 西アジアと地中海周辺		1 古代オリエントの統一 2 古代ギリシアとヘレニズム世界 3 ローマ帝国と地中海世界 4 古代末期の社会と地中海世界の解体 5 地中海世界とアジア					
第3回 レポート	第2章 西アジアと地中海周辺 第3章 南アジア		6 イスラーム世界の成立 7 中世初期の東西ヨーロッパ 1 南アジアにおける国家形成 2 インド世界の形成					
第4回 レポート	第4章 東南アジア 第5章 東アジアと中央ユーラシア		1 海の道の形成と東南アジア 2 東南アジア諸国家の再編成 1 古代帝国の誕生 2 中国の分裂と多様化 3 隋唐帝国と東アジア 4 草原地帯のトルコ化とイスラーム化					
第5回 レポート	第6章 アフリカ、オセアニア、古アメリカ 第2編 諸地域の交流と再編 第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄 第8章 中世ヨーロッパ		1 アフリカ 2 オセアニア 3 古アメリカ 1 イスラーム世界の発展 2 イスラーム文化 1 中世ヨーロッパ社会の展開 2 中世西ヨーロッパ社会の成熟 3 中世西ヨーロッパの文化 4 中世ヨーロッパ社会の再編					
第6回 レポート	第3編 一体化していく世界 第14章 国民国家と近代社会の形成 第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容		1 産業革命と工業化 2 アメリカ合衆国とラテンアメリカ諸国の独立 3 フランス革命とウィーン体制 4 自由主義の台頭と新しい革命の波 5 19世紀後半のヨーロッパ諸国 6 南北アメリカの発展 1 産業革命の本質と世界への波及と欧米社会 2 西アジアの危機と改革のはじまり 3 南アジア・東南アジアの民族運動 4 清における開発の限界と二つのアヘン戦争					
第7回レポート	第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行 第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦		1 列強の覇権争い 2 西アジア・中央アジアの変革 3 南アジア・東南アジアの民族運動 4 清の体制転換と近代国家建設の模索 1 第1次世界大戦 2 ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編 3 大戦後のアメリカ合衆国とヨーロッパ 4 アジア・アフリカでの国家形成の動き 1 世界恐慌と政治経済の変容 2 国際協調体制の動揺 3 第2次世界大戦の開戦と展開 4 戦後秩序構想と冷戦の形成					
第8回レポート	第19章 第2次世界大戦と戦後の東アジア 第4編 グローバル化と地球的課題 第20章 冷戦の世界化と国際制度		1 アジア・太平洋戦争と日本の敗戦 2 帝国の解体と分断国家の形成 3 アジア諸国の独立と脱植民地化 4 朝鮮戦争と東アジアの「冷戦」 1 冷戦と政治・経済秩序 2 アジア・アフリカ諸国の独立と第三勢力 3 平和共存と社会主義圏の多極化					
第9回レポート	第21章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 第22章 21世紀の地球的課題と人類社会		1 アメリカ合衆国の覇権の動揺と冷戦の変容 2 冷戦の変容と世界の諸地域 3 冷戦の終結とその後の世界 4 アメリカ合衆国の復調とグローバル化 1 グローバル化にともなう世界の変容 2 地球的諸課題 3 新たな秩序変容					
面接指導〈スクーリング〉	スクーリングでは、各回レポートの締切日直近回のレポートを解説します。出席するときには必ずレポートを持参し、確認・訂正した上で、レポートを提出してください。レポート作成に参考になる授業プリントも活用します。問題点を解消し、理解を深め、新たな発見を得られるような授業にしたいと思います。必要出席時数の確保だけにこだわらず、積極的に出席してください。							
評価の観点と方法	レポートの提出時期や内容を考慮したレポート点と定期考査の得点、スクーリング時の取り組み状況などを総合的に加味し評価する。							

科目	地理総合	単位数	2	年次	2	担当者	長野 康平	
教科書等	地理総合(東京書籍)		面接指導時数	2	レポート提出回数	6	試験回数	2
学習目標	社会的事象の地理的見方・考え方を働かせ、課題を追求したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。							
レポート内容	単 元		学 習 内 容			メディア利用学習		学習内容
第1回 レポート	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代社会		第1章 私が暮らす世界 第2章 地図や地理情報システムの役割			第1回 地球で暮らすって どういうこと？ ～地球上の生活～ (NHK高校講座) ※放送はレポート 第1回の内容		①球体としての地球 の特徴 ②球面上の暮らし ③地球儀と世界地図
第2回 レポート	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代社会 第2編 国際理解と国際協力		第3章 資料から読み取る現代世界 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解					
第3回 レポート	第2編 国際理解と国際協力		2節 生活文化と自然環境①地形 3節 生活文化と自然環境②気候					
第4回 レポート	第2編 国際理解と国際協力		4節 生活文化と産業 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題					
第5回 レポート	第2編 国際理解と国際協力		3節 人口問題 4節 食糧問題 5節 居住・都市問題 6節 民族問題 7節 持続可能な社会の実現をめざして					
第6回 レポート	第3編 持続可能な地域作りと私たち		第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望					
面接指導 〈スクーリング〉	スクーリングでは、各回レポートの締切日直近回のレポートを解説します。出席するときには必ずレポートを持参し、確認・訂正した上で、レポートを提出してください。レポート作成に参考になる授業プリントも活用します。問題点を解消し、理解を深め、新たな発見を得られるような授業にしたいと思います。必要出席時数の確保だけにこだわらず、積極的に出席してください。							
評価の観点と方法	レポートの提出時期や内容を考慮したレポート点と定期考査の得点、スクーリング時の取り組み状況などを総合的に加味し評価する。							

科目	歴史総合	単位数	2	年次	1	担当者	長野 康平	
教科書等	新選 歴史総合(東京書籍)		面接指導時数	2	レポート提出回数	6	試験回数	2
学習目標	社会的事象の歴史的見方・考え方を働かせ、課題を追求したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。							
レポート内容	単 元		学 習 内 容			メディア利用学習	学習内容	
第1回 レポート	第1章 歴史の扉 第2章 近代化と私たち	1節 歴史と私たち 2節 歴史の特質と資料 1節 近代化への問い 2節 結びつく世界と日本の開国	第8回 第一次世界大戦と戦後の世界 (NHK高校講座) ※放送はレポート第3回の内容			① 大衆社会の時代 ② 第一次世界大戦の展開 ③ 国際協調体制の形勢		
第2回 レポート	第2章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新 4節 近代化と現代的な諸課題						
第3回 レポート	第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第1次世界大戦と大衆社会						
第4回 レポート	第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	3節 経済危機と第2次世界大戦 4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題						
第5回 レポート	第4章 グローバル化と私たち	1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済						
第6回 レポート	第4章 グローバル化と私たち	3節 世界秩序の変容と日本 4節 現代的な諸課題の形成と展望						
面接指導 〈スクーリング〉	スクーリングでは、各回レポートの締切日直近回のレポートを解説します。出席するときには必ずレポートを持参し、確認・訂正した上で、レポートを提出してください。レポート作成に参考になる授業プリントも活用します。問題点を解消し、理解を深め、新たな発見を得られるような授業にしたいと思います。必要出席時数の確保だけにこだわらず、積極的に出席してください。							
評価の観点と方法	レポートの提出時期や内容を考慮したレポート点と定期考査の得点、スクーリング時の取り組み状況などを総合的に加味し評価する。							

科目	公共	単位数	2	年次	1	担当者	長野 康平	
教科書等	公共（東京書籍）		面接指導時間数	2	レポート提出回数	6	試験回数	2
学習目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。							
レポート内容	単 元		学 習 内 容			メディア利用学習	学習内容	
第1回 レポート	第1部 「公共」のとびら		第1章 公共的な空間を作る私たち —社会のなかの自己 第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方 —共に生きるための倫理			第4回 民主政治と政治参加① (NHK高校講座) ※放送は第2回レポートの内容	① 私たちの民主政治 ②地方自治のしくみと役割 ③国会内閣のしくみと役割	
第2回 レポート	第1部 「公共」のとびら 第2部 自立した主体として社会に参画する私たち		第3章 公共的な空間における基本的原理 —わたしたちの民主的な社会 第1章 民主政治と私たち					
第3回 レポート	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち		第2章 法の働きと私たち					
第4回 レポート	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち		第3章 経済社会で生きる私たち					
第5回 レポート	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち		第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ1・テーマ2					
第6回 レポート	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第3部 持続可能な社会作りに参画するために		第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ3・テーマ4 1 探究のイメージをつかもう 2 探求プロセス					
面接指導 〈スクーリング〉	スクーリングでは、各回レポートの締切日直近回のレポートを解説します。出席するときには必ずレポートを持参し、確認・訂正した上で、レポートを提出してください。レポート作成に参考になる授業プリントも活用します。問題点を解消し、理解を深め、新たな発見を得られるような授業にしたいと思います。必要出席時数の確保だけにこだわらず、積極的に出席してください。							
評価の観点と方法	レポートの提出時期や内容を考慮したレポート点と定期考査の得点、スクーリング時の取り組み状況などを総合的に加味し評価する。							

科目	政治・経済	単位数	2	年次	3	担当者	長野 康平	
教科書等	東京書籍 政治・経済 701		必要出席時数	2	レポート提出回数	6	試験回数	2
学習目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の優位な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。							
レポート内容	単 元		学 習 内 容			NHK(回) 高校講座	東京書籍 インターネット授業	
第1回 レポート	第1篇 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原則 2節 日本国憲法の基本原則		1節 1 民主政治の成立 2 法と民主政治 3 基本的人権の確立 4 現代の民主政治 5 世界の主な政治体制 2節 1 日本国憲法の制定と基本原則 2 基本的人権の保障 3 平和主義			第2回 民主政治の成立 (NHK高校講座) 放送は第1回のレポート内容	①民主政治の条件、社会契約説 ②法の支配、基本的人権の確立 ③国民主権、権力分立	
第2回 レポート	3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題		3節 1 国会と立法 2 内閣と行政 3 裁判所と司法 4 地方自治 4節 1 戦後政治と政党 2 選挙と政治意識 3 世論と政治参加					
第3回 レポート	第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ		1節 1 経済活動の意義 2 資本主義経済の発展と変容 2節 1 経済主体と経済の循環 2 生産のしくみと企業 3 市場経済の機能と限界 4 国民所得と経済成長 5 金融のしくみと機能 6 財政のしくみと機能					
第4回 レポート	3節 日本経済の発展と現状 4節 福祉社会と日本経済の課題		3節 1 戦後日本経済の発展 2 日本経済の現状 4節 1 郊外と環境保全 2 農業・食料問題 3 中小企業の現状と課題 4 情報化の進展と社会の変化 5 消費者問題 6 雇用と労働問題 7 社会保障と福祉					
第5回 レポート	第3章 現代日本の諸課題 第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治 1節 国際政治のしくみ 2節 複雑化する国際政治と日本		1節 1 国際政治の特質 2 国際社会と国際法 3 国際連合の役割と課題 2節 1 戦後国際関係の展開と日本 2 冷戦後の国際関係と日本 3 地域主義の動き 4 軍縮の動向と課題 5 紛争・難民・テロリズム 6 国際社会における日本の役割					
第6回 レポート	第2章 現代の国際政治 1節 国民経済と国際経済 2節 世界経済の現状と課題 第3章 国際社会の諸課題		1節 1 貿易と国際収支 2 戦後国際経済体制の展開 3 発展途上国の経済 2節 1 グローバル化する世界経済 2 地球環境問題 3 資源・エネルギー問題 4 人口・貧困・感染症 第3章 1 グローバル化にともなう社会変容 2 地球環境と資源・エネルギー問題 3 国際的な経済格差の是正 4 イノベーションの促進と成長市場 5 民族問題と紛争の解決					
面接指導 〈スクーリング〉	スクーリングでは、各回レポートの締切日直近回のレポートを解説します。出席するときには必ずレポートを持参し、確認・訂正した上で、レポートを提出してください。レポート作成に参考になる授業プリントも活用します。問題点を解消し、理解を深め、新たな発見を得られるような授業にしたいと思います。必要出席時数の確保だけにこだわらず、積極的に出席してください。							
評価の観点と方法	レポートの提出時期や内容を考慮したレポート点と定期考査の得点、スクーリング時の取り組み状況などを総合的に加味し評価する。							
担当者より一言	レポート作成については問題文をよく読み、教科書・学習書をていねいに調べることが基本になります。あせらずに粘り強くレポートを作成してください。授業やレポートなど興味がわいた物事については色々調べてみてください。また、常に新聞・テレビなどのニュースに関心を持って、世の中の動きを注視してください。							

科目	数学演習 (学校設定科目)	単位数	2	年次	3	担当者	山本 哲裕	
教科書等	テスト式就職数学 数学Ⅰ (中部日本教育文化会)		必要出席時 数	2	レポート提出 回数	6	試験回数	2
学習目標	過去の就職試験に使われた問題を解くことにより、数学Ⅰをより定着させて将来に数学を使う場 面に対応できるようにする。							
レポート内容	単 元		学 習 内 容			NHK(回) 高校講座	東京書籍 インターネット授 業	
第1回 レポート	テスト式就職数学 数学Ⅰ テキスト1～3		数の計算、整式					
第2回 レポート	テスト式就職数学 数学Ⅰ テキスト4～6		乗法公式、因数分解、無理数					
第3回 レポート	テスト式就職数学 数学Ⅰ テキスト7～11		1次方程式、連立方程式、2次方程式、 1次不等式					
第4回 レポート	テスト式就職数学 数学Ⅰ テキスト17～21		三角比、三角比の相互関係、正弦定理、 余弦定理、図形の計量					
第5回 レポート	テスト式就職数学 数学Ⅰ テキスト23～25		円の性質、百分率と歩合、濃度・速度					
第6回 レポート	テスト式就職数学 数学Ⅰ テキスト27、28		面積、体積					
面接指導 〈スクーリング〉	スクーリングでは、各回レポートの締切日直近回のレポートを解説します。出席するときには必 ずレポートを持参し、確認・訂正した上で、レポートを提出してください。問題点を解消し、理解を深 め、新たな発見を得られるような授業にしたいと思います。必要出席時数の確保だけにこだわら ず、積極的に出席してください。							
評価の観点と方法	レポートの提出時期や内容を考慮したレポート点と定期考査の得点、スクーリング時の取り組み 状況などを総合的に加味し評価する。							
担当者より一言	基礎的な事項について復習を行い、数学の定着につなげていきます。苦手意識を持ちがちな教 科ですが、基礎的な事項を繰り返し練習することが基本になります。あせらずに粘り強くレポートを 作成してください。							

年間指導計画表

科目		数学A		単位数	2	年次	2	担当者	山本 哲裕	
教科書等		新 高校の数学A (数研出版)		面接指導時数		2	レポート提出 回数	6	試験回数	2
学習目標		場合の数と確率、整数の性質または図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。								
レポート内容		単 元		学 習 内 容			メディア利用学習		学習内容	
第1回 レポート	①	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数		集合 集合の要素の個数 和の法則と積の法則 順列			NHK高校講座 ベーシック数 学	第33回 組み合わせ		
第2回 レポート	②	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数		円順列 重複順列 組合せ						
第3回 レポート	③	第1章 場合の数と確率 第2節 確率		事象と確率 確率の計算 独立な試行と確率 条件つき確率 期待値						
第4回 レポート	④	第2章 図形の性質 第1節 平面図形		図形の基本 角の二等分線と線分の比 三角形の外心、内心、重心						
第5回 レポート	⑤	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形		円周角の定理 円に内接する四角形 円の接線 方べきの定理 空間の直線、平面 正多面体						
第6回 レポート	⑥	第3章 数学と人間の活動		約数と倍数 素因数分解 最大公約数と最小公倍数 2進法 点の位置の表し方						
面接指導 〈スクーリング〉		スクーリングでは、各回レポートの締切日直近回のレポートを解説します。出席するときには必ずレポートを持参し、確認・訂正した上で、レポートを提出してください。問題点を解消し、理解を深め、新たな発見を得られるような授業にしたいと思います。必要出席時数の確保だけにこだわらず、積極的に出席してください。								
評価の観点 と方法		レポートの提出時期や内容を考慮したレポート点と定期考査の得点、スクーリング時の取り組み状況などを総合的に加味し評価する。								

滋慶学園高等学校

科目	物理基礎		単位数	2	年次	2	担当者		高橋 萌	
教科書等	新編物理基礎 (東京書籍)		面接指導時数		8	レポート提出 回数		6	試験回数	2
学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。									
レポート内容		単 元	学 習 内 容			メディア利用学習		学習内容		
第1回 レポート	①	物体の運動と エネルギー	直線運動の世界			第1回 (東京書籍)		1編 物体の運動と エネルギー ＜視聴内容＞ 自由落下運動 鉛直投射 水平投射		
第2回 レポート	②	物体の運動と エネルギー	力の運動の法則					1編 物体の運動と エネルギー ＜視聴内容＞ 慣性の法則 「運動の変化」と「力」 作用・反作用の法則		
第3回 レポート	③	物体の運動と エネルギー	力学的エネルギー			第2回 (東京書籍)		2編 さまざまな物理 現象とエネルギー ＜視聴内容＞ 温度と熱 熱と物質 熱の移動と保存 熱と仕事		
第4回 レポート	④	さまざまな物理現象と エネルギー	熱					2編 さまざまな物理 現象とエネルギー ＜視聴内容＞ エネルギーの変換と保存 原子核のエネルギー 放射線の利用と安全性		
第5回 レポート	⑤	さまざまな物理現象と エネルギー	波			第3回 (東京書籍)				
第6回 レポート	⑥	さまざまな物理現象と エネルギー	電気 エネルギーとその利用							
面接指導 ＜スクーリング＞		面接指導において、教科書に準じた内容をICTと授業プリント、問題集などを活用して授業を行っていき、基本的な概念や原理・法則の理解を図る。また、観察、実験などを行うことで科学的に探究する力と探求しようとする態度を養い、科学に対する興味・関心を高める。								
評価の観点 と方法		レポート提出時期や内容を考慮したレポート点と単位認定試験の得点、スクーリング時の取り組み状況などを総合的に加味し評価する。								

科目	体育	単位数	3	年次	1	担当者	内海 翔太
教科書等	現代高等保健体育(大修館書店)	面接指導時数	15	レポート提出回数	3	試験回数	2
学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。						
レポート内容	単 元	学 習 内 容		メディア利用学習	学習内容		
第1回 レポート	①	スポーツの発祥と発展	スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ	第1回 (東京書籍)	陸上競技		
				第2回 (東京書籍)	水泳		
	②	体育実技	自主的に行う運動	第3回 (東京書籍)	器械運動		
第2回 レポート	①	スポーツの発祥と発展	オリンピックとパラリンピックの意義 スポーツが経済に及ぼす効果	第4回 (東京書籍)	バスケットボール		
				第5回 (東京書籍)	ハンドボール		
	②	体育実技	自主的に行う運動	第6回 (東京書籍)	サッカー		
				第7回 (東京書籍)	スポーツの始まりと変遷		
第3回 レポート	①	スポーツの発祥と発展	スポーツの高潔さとドーピング スポーツと環境	第8回 (東京書籍)	文化としてのスポーツ		
				第9回 (東京書籍)	オリンピックとパラリンピックの意義		
	②	体育実技	自主的に行う運動				
面接指導 〈スクーリング〉	各々の時間で季節に合わせ、様々な種目の中から適したものを楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合はあらかじめ相談させ別途指示を出す。運動を行うことと健康がどのように関連しているのかを面接指導を通して学ぶ。						
評価の観点と方法	レポート提出時期や内容を考慮したレポート点と単位認定試験の得点、スクーリング時の取り組み状況などを総合的に加味し評価する。						

科目	体育	単位数	2	年次	2	担当者	内海 翔太
教科書等	現代高等保健体育(大修館書店)	面接指導時数	10	レポート提出回数	2	試験回数	2
学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。						
レポート内容	単 元	学 習 内 容		メディア利用学習	学習内容		
第4回 レポート	①	運動・スポーツの学び方	スポーツにおける技能と体力	第1回 (東京書籍)	バレーボール		
			スポーツにおける技術と戦術	第2回 (東京書籍)	テニス		
	②	体育実技	自主的に行う運動	第3回 (東京書籍)	卓球		
				第4回 (東京書籍)	バドミントン		
第5回 レポート	①	運動・スポーツの学び方	技能の上達課程と練習 効果的な動きのメカニズム	第5回 (東京書籍)	スポーツが経済に及ぼす効果		
				第6回 (東京書籍)	スポーツと環境		
	②	体育実技	自主的に行う運動				
面接指導 〈スクーリング〉	各々の時間で季節に合わせ、様々な種目の中から適したものを楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合はあらかじめ相談させ別途指示を出す。運動を行うことと健康がどのように関連しているのかを面接指導を通して学ぶ。						
評価の観点 と方法	レポート提出時期や内容を考慮したレポート点と単位認定試験の得点、スクーリング時の取り組み状況などを総合的に加味し評価する。						

科目	美術 I	単位数	2	年次	1	担当者	野村 絵美	
教科書等	日本文教出版「高校美術 I」		必要出席時数	2	レポート提出回数	6	試験回数	2
学習目標	美術における様々の活動を通して、生涯に渡り美術文化を愛好する感性を育てる。 実技を通して、表現能力の向上を図り創造することの喜びや理解を深める。							
レポート内容		単 元	学 習 内 容			メディア 利用学習	学習内容	
第1回 レポート	①	鉛筆デッサン	鉛筆デッサンの基礎を学び、実技課題で鉛筆の特徴を生かした立体表現を身に着ける。 実技：2B～Bの鉛筆を使用			①	Eテレ・美術 I 第3回 鑑賞 第4回 色彩と感情	
第2回 レポート	②	絵画表現と鑑賞	絵画表現の多様性、創造的な表現の工夫を学び、鑑賞で深い見方や感じ方ができるようにする。 実技：鉛筆、色鉛筆を使用			②	第6回 人を描く 第7回 風景を描く	
第3回 レポート	③	美の秩序 生活を彩る模様	造形の秩序を理解し、配置の法則によって生まれる美しさを感じ取る。模様制作で、創造的に造形の秩序を活用し理解を深める。 実技：鉛筆、色鉛筆を使用			③	第9回 日本美術 第11回 写真と絵画	
第4回 レポート	④	日本の美術	日本美術の表現の特質と様式を学び、継承されているよさや美しさを理解する。日本の美術文化への見方や感じ方を深める。			④	第15回 プロダクトデザイン 第16回 マンガと アニメーション	
第5回 レポート	⑤	立体表現 映像メディア表現	立体作品や映像メディア作品から、表現の工夫・見方を学び、作者の心情・意図を感じ取る。また、表現の工夫を理解し、よさや美しさを深く鑑賞する。					
第6回 レポート	⑥	デザイン	幅広いデザイン表現に触れ、使用状況・対象者・機能性・美しさが創造的に工夫されていることを学ぶ。実技課題では、自ら主題の設定・表現の工夫をし、伝達効果と美しさについて理解を深める。 実技：鉛筆、色鉛筆を使用					
面接指導 〈スクーリング〉	実技指導を中心に実施します。自己の追求したい主題を、レポートで学んだ多様な表現方法を活用して表現し、主体的な創造活動の時間にして欲しい。実技を通して、デッサン、色彩、構成、材料や用具の生かし方など、創作活動にかかわる基本的な知識・技能を身に付けて欲しい。							
評価の観点 と方法	レポートの提出時期(提出期限が守れているか)や内容(作品に向かう姿勢や努力、完成度、造形的な思考力・技術力)を考慮したレポート点と定期考査の得点、スクーリング時の取り組み状況などを総合的に加味し評価します。							
担当者より一言	美術は作品から学ぶことが大変多いです。教科書に掲載の作品や、教科書の各ページ下に記載のQRコードから観られる画像・動画を学習時にしっかり活用しましょう。 美術が日常生活の中でどのように活用されているか普段から興味関心を持ち、課題レポート・面接指導を通して主体的に知識・技能を身に付けて欲しいです。							

科目	音楽	単位数	2	年次	1	担当者	森田香奈子
教科書等	音楽 I MOUSA1(教育芸術者)	面接指導時数	8	レポート提出回数	6	試験回数	2
学習目標	音楽の諸活動を通して知識と技能を高め、音楽理解を深めるとともに、音楽に対する豊かな感性と心情を育む。						
レポート内容	単元	学習内容		メディア利用学習	学習内容		
第1回レポート	①	楽典①	音名、音符と休符	第1回(NHK)	暮らしの中にある音や音楽		
	②	歌唱	むこうむこう、この道	第2回(NHK)	日本のポップスを歌う		
第2回レポート	①	楽典②	拍子、音楽記号	第3回(NHK)	音楽のかたちと社会のかたち		
	②	創作①	オノマトペでリズムアンサンブル	第4回(NHK)	身のまわりの音を取り込む		
第3回レポート	①	舞台芸術	オペラ、ミュージカル、バレエ	第5回(NHK)	リズムを表現しよう		
	②	オペラ	カルメン	第6回(NHK)	言葉の音楽性		
第4回レポート	①	日本の伝統音楽①	雅楽、能、箏、尺八	第7回(NHK)	儀式や式典の音楽		
	②	歌曲	Heiden roslein(野ばら)	第8回(NHK)	現代のポピュラー音楽		
第5回レポート	①	民謡	郷土の民謡と芸能				
	②	日本の伝統音楽②	箏				
第6回レポート	①	音楽史	西洋音楽				
	②	創作②	旋律の雰囲気を変化させよう				
面接指導<スクーリング>	スクーリングでは各回レポートの締切日直近回のレポートを解説します。音楽室にある楽器を使って実技演習を行います。音楽の知識と技能の習得を目指し、音楽の魅力を味わえるような授業にしたいと思います。						
評価の観点と方法	レポート提出時期や内容を考慮したレポート点と単位認定試験の得点、スクーリング時の取り組み状況などを総合的に加味し評価する。						

科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4	年次		担当者	居合育子	
教科書等	All Aborad! English Communication Ⅱ	必要出席時数	16	レポート提出回数	12	試験回数	2	
学習目標	1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。							
レポート内容	単 元	学 習 内 容				NHK(回) 高校講座	東京書籍 インターネット授業	
第1回 レポート	Pre-Lesson My Plans for This Year Lesson 1 A Colorful Island	今年の計画について考え、クラスメートと対話したり、インタビューしたりする。 イタリアのブラーノ島への旅行を報告するSNSを通して、その島の特色について学習する。 [言語材料]関係代名詞: what				① Lesson 1	① Lesson 1	
第2回 レポート	Lesson 2 With the Beatles	曲をリクエストしたラジオ番組の聴取者とディスクジョッキーの対話を通して、世代を超えて人気のあるバンドについて学習する。 [言語材料]比較表現: more, the most				② Lesson 2	② Lesson 2	
第3回 レポート	Lesson 3 Wild Men	ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についてのスピーチを通して、人間社会と自然について考える。 [言語材料]itの用法				③ Lesson 3	③ Lesson 3	
第4回 レポート	Lesson 4 Little Hero	世界最小の鳥であるハチドリを紹介する記事とハチドリの物語を通して、不断の努力と不屈の心について考える。[言語材料]間接疑問文				④ Lesson 4	④ Lesson 4	
第5回 レポート	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	日本の伝統文化である歌舞伎と隈取について学習する。 [言語材料]to不定詞を含む表現				⑤ Lesson 5	⑤ lesson 5	
第6回 レポート	Reading 1 Mujina	江戸時代を舞台にした怪談を読み、情景や登場人物の心情を読み取る。						
第7回 レポート	Lesson 6 Seeds for Future Generations	海外の高校生に向けた、伝統野菜についてのグループ発表を通して、伝統の継続について考える。 [言語材料]動詞の目的語になるif節				⑥ Lesson 6	⑥ Lesson 6	
第8回 レポート	Lesson 7 Over the Wall	世界中で壁画を描く活動についての話を通して、世界の人々と交流する方法について学習する。 [言語材料]関係副詞: where, when				⑦ Lesson 7	⑦ Lesson 7	
第9回 レポート	Lesson 8 Inspiration from Nature	生物模倣についてのオンライン講演の授業を通して、自然界のデザインをヒントに開発された製品について学習する。 [言語材料]知覚動詞				⑧ Lesson 8	⑧ Lesson 8	
第10回 レポート	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate	チョコレートをめぐる現実を取り上げた雑誌記事を通して、カカオ農園の実態と児童労働及びその解決策について学習する。 [言語材料]使役動詞				⑨ Lesson 9	⑨ Lesson 9	
第11回 レポート	Lesson 10 Fighting Angel	医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯について学習する。 [言語材料]分詞構文				⑩ Lesson 10	⑩ lesson 10	
第12回 レポート	Reading 2 Bear's Pie	平日の生活でよく使われる語句や表現を学習する。						
面接指導 〈スクーリング〉	各Lessonの情報を読み取って概要や要約にまとめる学習を行う。 学んだ語句や表現を用いて自分の考えを話したり、書いたりする学習を行う。							
評価の観点と方法	①授業中に生徒の言語活動への取り組み状況を観察する。(思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度) ②本文の要約やPair Talk, Fun Talk!あるいはActivityの各Stepへの取り組みを評価する。(知識・技能, 思考・判断・表現) 評価項目: 取り組みの熱心さ, 声の大きさ, 発音の正確さなど ③本文の内容について読んだり、聞いたりしたことを理解しているかを筆記テストする。(知識・技能, 主体的に学習に取り組む態度) 中間・期末考査／評価問題／補充文法問題／10分間テストなど ④上記課題の内容や提出状況(知識・技能, 思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度)							
担当者より一言	スクーリングでは、それまでのレポート及び、次のレポートの内容について確認します。出席するときにはレポート、教科書、ワークブックを持参してください。各自、わからないところ、間違ったところを確認してから出席するよう心がけてください。必要出席時数の確保だけにこだわらず、積極的に出席してください。							

科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	3	年次	1	担当者	居合 育子	
教科書等	All Aboard! English CommunicationⅠ		必要出席時数	12	レポート提出回数	9	試験回数	2
学習目標	1.必要な情報を聞き取り、話し手・書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じてとらえることができる。 2.基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 3.基本的な語句や文を用いて情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。							
レポート内容	単 元		学 習 内 容			東京書籍		NHK高校講座
第1回 レポート	Warm-Up Pre-Lesson 1, 2 Lesson 1 Breakfast around the World		世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。 [言語材料]be動詞、一般動詞、過去形			① Lesson 1		① Lesson 1
第2回 レポート	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas Lesson 3 A Train Driver in Sanriku		オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。 [言語材料]進行形 被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。 [言語材料]助動詞: can, will			② Lesson 2 ③ Lesson 3		② Lesson 2 ③ Lesson 3
第3回 レポート	Lesson 4 A Miracle Mirror Extra Target 1		海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。 [言語材料]to不定詞			④ Lesson 4		④ Lesson 4
第4回 レポート	Lesson 5 Learning from the Sea Extra Target 2		高校のユニークな部活動を通して、好きなことと将来の夢について考える。 [言語材料]動名詞			⑤ Lesson 5		⑤ Lesson 5
第5回 レポート	Reading 1 Short Stories in English Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period		3つのショートストーリーを読み、それぞれの場面や心情を読み取ってユーモアを理解する。 江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通して浮世絵と現代マンガの関連性について考える。 [言語材料]受け身			⑥ Lesson 6		⑥ Lesson 6
第6回 レポート	Lesson 7 A Diary of Hope		アンネ・フランクの生活と日記について紹介する授業を通して、生きることの意味について考える。 [言語材料]比較表現			⑦ Lesson 7		⑦ Lesson 7
第7回 レポート	Lesson 8 A Door to a New Life		ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える。 [言語材料]現在完了形			⑧ Lesson 8		⑧ Lesson 8
第8回 レポート	Lesson 9 Fighting Plastic Pollution		プラスチックごみによる環境汚染と戦うインドネシアの姉妹の活動を学習する。 [言語材料]名詞を後ろから説明する分詞			⑨ Lesson 9		⑨ Lesson 9
第9回 レポート	Lesson 10 Pigs from across the Sea Extra Target 3		第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学習する。 [言語材料]関係代名詞: who, which			⑩ Lesson 10		⑩ Lesson 10
面接指導 スクーリング	各Lessonの情報を読み取って概要や要約にまとめる学習を行う。 学んだ語句や表現を用いて自分の考えを話したり、書いたりする学習を行う。							
評価の観点 と方法	①授業中に生徒の言語活動への取り組み状況を観察する。(思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度) ②本文の要約(各LessonのSummary)やPair Talk, Fun Talk!あるいはActivityの各Stepへの取り組みを評価する。(知識・技能, 思考・判断・表現) 評価項目: 取り組みの熱心さ, 声の大きさ, 発音の正確さなど ③本文の内容について読んだり、聞いたりしたことを理解しているかを筆記テストする。(知識・技能, 主体的に学習に取り組む態度) 中間・期末考査／評価問題／補充文法問題／10分間テストなど ④上記課題の内容や提出状況(知識・技能, 思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度)							

レポートの提出状況や内容、定期考査の得点、スクーリングでの取り組み状況などを総合的に加味し評価します。

科目	ビジネス基礎	単位数	2	年次	2	担当者	久安 歩
教科書等	ビジネス基礎 (実教出版)	面接指導時数	4	レポート提出回数	4	試験回数	2
学習目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。						
レポート内容	単 元		学 習 内 容			メディア利用学習	
第1回 レポート	①	1章 商業の学習とビジネス	1 いざビジネスの世界へ 2 私たちの社会とビジネス			第1回(NHK) 1回 私たちの社会と ビジネス ・2回 ビジネスとコ ミュニケーション	
	②	2章 ビジネスとコミュニケーション	1 コミュニケーション 2 ビジネスマナー 3 情報の入手と活用			第2回(NHK) 12回 ビジネスと企業 ・16回 雇用	
	③	3章 経済と流通の基礎	1 経済の仕組みとビジネス 2 経済活動と流通				
第2回 レポート	④	4章 さまざまなビジネス	1 ビジネスの種類 2 小売業 3 卸売業 4 物流業 5 金融業 6 情報通信業				
第3回 レポート	⑤	5章 企業活動の基礎	1 ビジネスと企業 2 マーケティングの重要性 3 資金調達 4 財務諸表の役割 5 企業活動と税 6 雇用				
第4回 レポート	⑥	6章 ビジネスと売買取引	1 売買取引の手順 2 代金決済				
	⑦	7章 ビジネス計算	1 ビジネス計算の基礎 2 ビジネス計算の応用				
	⑧	8章 身近な地域ビジネス	1 さまざまな地域の魅力と課題 2 地域ビジネスの動向				
面接指導 〈スクーリング〉	スクーリングでは、各回レポートの締切日直近回のレポートを解説します。出席するときには必ずレポートと教科書を持参してください。実技・実習等もまじえた授業ですので積極的に授業へ参加してください。						
評価の観点 と方法	レポートの提出状況や内容、定期考査の得点、スクーリングでの取り組み状況などを総合的に加味し評価します。						

科目	キャリアデザイン I	単位数	2	年次	2	担当者	高橋 萌	
教科書等	Hand-book-of Life Style		必要出席時数	4	レポート提出回数	4	試験回数	2
学習目標	生徒の特性及び進路希望に応じ、探求的・体験的な学習活動を取り入れ、コミュニケーション能力の育成、自己管理能力や協調性の育成を図る。広い視野に立って自らを高め、社会に役立つ人間として生きていこうとする態度を育て、望ましい勤労観・職業観・価値観の形成・確立を図る。							
レポート内容		単 元	学 習 内 容					
第1回 レポート	①	第1章 プロの職業人を目指すにあたって	・プロへのビジョン ・夢を実現する3つの基本フォーム ・夢を実現するための3つの行動原則 ・Benesse マナビジョン」適職・敵学診断					
第2回 レポート	②	第2章 学校生活編 第3章 日常生活編	・今日も笑顔であいさつを ・コミュニケーション ・身だしなみ ・パソコンを上手に使うために ・言葉遣い ・インターネット上の誹謗中傷					
第3回 レポート	③	第3章 日常生活編	・健康診断 ・健康的な生活を送るために、健康管理を ・ドラッグについて ・生活習慣病について ・緊急時の対応					
4第回 レポート	④	第3章 日常生活編	・災害・事故について ・トラブルについて					
面接指導 〈スクーリング〉		インターンシップや地域行事への参加などの体験的学習も積極的に取り入れる。						
評価の観点 と方法		①レポート課題の取り組み状況 ②各授業の態度、取り組み方 ③試験の得点 を総合的に判断し評価します。						

